

教育委員会だより

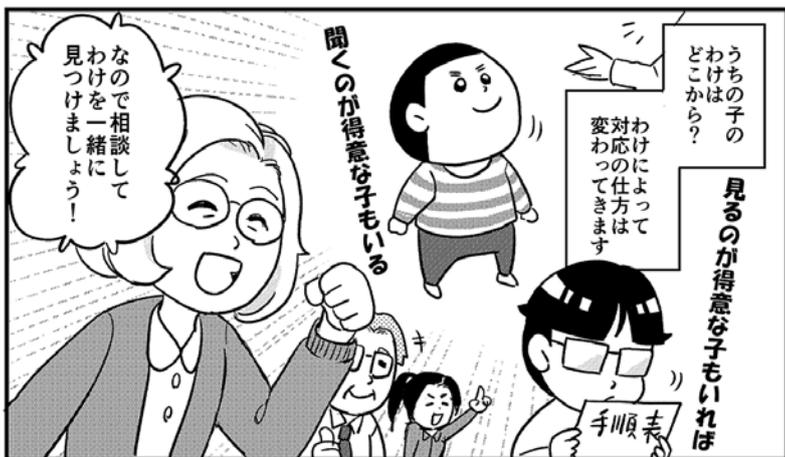
発達支援課

園や学校・関係機関と連携し、保護者や子どもたちを支援しています

お子さんの発達で気になることがあるときは、一人で悩まずに保護者から直接、または在籍している園を通じて、ご相談ください。また、小中学校入学後も、一人一人の持てる力を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を解決するために適切な支援を行います。学級担任や特別支援教育コーディネーターへお気軽にご相談ください。



こども発達支援センターへ相談に行こう！



漫画で考える子どもの発達

今月号では、ADHDの当事者で、特別支援教育士としてこども発達支援センターの相談員も務めていた漫画家、あーさんの漫画を紹介します。

お子さんの発達で気になることがあるときは、一人で悩まずに発達支援課（こども発達支援センター）へご相談ください。

※漫画の詳細（冊子）は、発達支援課の窓口でお渡しすることができます。

👑 小・中学生科学奨励賞

身近な出来事、人や物、自然との関わりを通して、科学的な物の見方や関心を高めるために、平成17年度に小・中学生科学奨励賞を創設。今年度で16回目の実施となります。

令和元年度は3,768点もの応募があり、特選6作品、優秀11作品、入選33作品を選出。また、過去5回優秀賞・特選を受賞した児童生徒に授与される「あかがね賞」を2人に贈呈しました。

小中学生ならではのユニークな視点による観察・実験が満載で、審査員も驚かされる研究がたくさんあります。

今年度も12月25日(金)から令和3年1月9日(土)まで、県総合科学博物館で入選作品展を開催します。小中学生の研究成果をぜひご覧ください。



科学奨励賞 優秀



科学奨励賞 特選

学校教育課

地域と連携
特色ある学校づくりを推進

学校教育課では、地域と連携した特色ある学校づくりを進めています。また、子どもたちに必要な知識および技能の習得と、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を育むために、子どもたちの挑戦の場を充実させています。

コロナ禍で実施を見合わせた事業が多かった中で、予定されている三つの事業について紹介します。

👑 明るい未来へ繋ぐタイムカプセル事業

今年は、修学旅行・運動会など、たくさんの学校行事が中止や変更になりました。特に今年度、小中学校で最後の年を迎える小学6年生、中学3年生は大変悲しい思いをしています。

そのような中、新居浜ライオンズクラブのご厚意により、小学6年生、中学3年生を対象に、タイムカプセル事業を行うことができるようになりました。未来の自分や社会に向けたエールや、今の思いを手紙にして未来へ送ります。タイムカプセルは、市内全小・中学校へ寄贈されます。

このような活動を通して、過去を振り返りながら、今を見つめ、より明るい未来を拓く子どもたちの育成に努めていきます。



👑 新居浜こども美術展

市内の小中学生が学校の図画工作・美術・書写などの教育活動の中で制作した作品の総合的な発表および鑑賞の場として、新居浜こども美術展を毎年開催しています。

今年度で40回目。コロナ禍でも、子どもたちは思いを込めて一生懸命制作に取り組みました。絵画、工作、粘土作品、てん刻、毛筆作品、硬筆作品など、どれも力作ぞろいです。

令和3年2月10日(水)から2月21日(日)まで、あかがねミュージアムで開催します。子どもたちのすてきな作品をぜひご覧ください。

◎市内小・中学校では、各学校のホームページで子どもたちの活動の様子を随時お知らせしています。ぜひご覧いただき、子どもたちの成長を温かく見守ってください。